

令和6年度 1学期始業式挨拶

皆さんおはようございます。今年度も本校校長としてお世話になります田中です。皆さんよろしく申し上げます。

皆さん新しい年度が始まるにあたり 改めまして進級おめでとうございます。一年後のみなさんがますます成長した姿になっていることを願っています。

3年生の皆さん、一番最初に体育館で整列を行って、下級生が入場してくるまで静かに待っていました。昨年度に比べるととても成長したと感じました。さすが3年生だと感心しました。

さて、今日は私からふたつお願いがあります 1つめは自分を大切にすることです。昨年度の3学期の終業式で「いじめは絶対に許さない」「仲間を大切にしたい」と話をしましたが、「仲間を大切にすること」と同様に「自分を大切に」してください。日常で思うように行かないことが多々あるでしょうが、その時の気分や雰囲気にならなれず、5年後10年後の自分の幸せ それを判断の基準にしてほしいということです。自分を大切にしてください。

2つめです。勉強してください。

2023年のGDP（国内総生産）がドイツに抜かれ世界4位になったことを知っていますか？戦後、1968年に当時の西ドイツを抜かしてアメリカに次ぐ世界2位となりましたが、2010年に中国に抜かれ、昨年ドイツにも抜かれました。成長著しいインドが世界5位です。インドにも抜かされるのは時間の問題という学者もいます。

この間、日本はそれをどうしたらいいのかと議論はあまりなされず、現在のマスメディアを賑わしているのは政治資金問題についてです。「国家の危うい危機に政治家は何をしているんだ」という声を聴くこともありますが、その政治家を選挙で選んだのは我々国民です。

3年生の皆さん、次に誕生日が来たら選挙権を持つのですよ。現在の国政選挙投票率は凡そ50%程度で、約200か国中139位です。政治家の不祥事への厳しい不満の割に、投票率は非常に低いと言わざるを得ません。

時代の流れを正しくつかみ、それぞれの政治家の政策を正しく理解し、自分の意見を主張する場が選挙です。耳障りの良い政策やマスコミに惑わされる事なく、自分の意思、主張に沿った候補者に投票しようとするには学力や理解力が必要です。

この世の中は弱者にやさしい制度もたくさんありますが、その制度を理解し、正しく活用するのにも少なからず学力が必要になります。細々とした文章を「邪魔くさい」と言って読

まなかつたり、他人からの説明を難しいからと言って聞かなかつたりしていると、その制度も利用することが出来ません。高校生の間に学力・力をつけてください。

ちなみに 2023 年「アンホルト-イブソス国家ブランド指数」という様々な国家の評判や評価をランク付けした「いわゆる国家の品格指数」では日本は 1 位となっています。世界に誇るべき文化がたくさんある、この国でしっかりと力をつけて社会に出た時に活躍してください。1 年後 皆さんが大きく成長した姿を見ることを願って私の始業式の挨拶とします。